



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

2016年7月25日 vol.47

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

## つくば・市民ネットワークが 議員3人になって実現できたこと

**1** より広く市民の声を集め、活動分野も広がる 議員が3人になり、各地域の声をさらに広く聴くことができました。また、新たな人のつながりができ、さらに多くの人が市民ネットの活動に関わるようになりました。それによって、様々な分野の課題に取り組み、市民活動の幅が広がったことが大きな成果です。

市民の意見を代弁する人という意味から、議員を代理人と呼び、市議会に送り出しています。12年前に2人の議員からスタートし、4年前に交代、現在3人の議員で活動しています。

つくば・市民ネットワーク（以下、市民ネット）は、市民の声が市政に反映されることを目指して2003年に立ち上げた市民活動団体です。まちの目指す姿を描き、税金をどう使うのか、望む暮らし方を実現するにはどうしたらよいか、市民の力でどんなことができるのか、考え、実践してきました。

**3** 市民ネット3人で議員提案の提出が可能に 議会では議員3人以上で議員提案ができます。市民ネットの議員が3人になり、議員提案を出しやすくなりました。この4年間に15以上の意見書や決議案、修正案を提出しま

つくば市議会の常任委員会と所属する市民ネットの議員

総務 常任委員会	文教福祉 常任委員会	環境経済 常任委員会	都市建設 常任委員会
北口ひとみ	宇野 信子	皆川ゆきえ	

**2** 4つの常任委員会のうち、3つの委員会に所属 つくば市議会では分野別に常任委員会が4つあります。議会に提出される議案は、各委員会に分けて審議、精査されます。現在、市民ネットの議員はそれぞれ3つの委員会に所属しています。

### 市民ネットが関わった主な議員提案

- 議会における資料提出、答弁について誠実な対応を求める決議 - 2014年9月 可決
  - 平成27年度つくば市一般会計予算に対する修正案（総合運動公園関連予算のみ削除） - 2015年3月 可決
  - 総合運動公園に関する調査特別委員会の設置について - 2015年12月 可決
  - 市原健一市長に対する問責決議（市長の週刊誌報道に対して） - 2015年12月 可決
- など、15以上の議員提案を提出

した。（主な議員提案は左表）

## 子どもの居場所づくりを!!

### 守谷市放課後子ども総合プラン事業を見学して



守谷市におじゃまして「守谷市放課後子ども総合プラン事業」について伺ってきました。なんと、守谷市には私立の児童クラブが無いそうです!しかも6年生まで希望者は全員児童クラブに入会できている、とのこと。そんなことが可能なんですか??

守谷市ではすべての小学校に「児童クラブ」と「放課後子ども教室」があります。「児童クラブ」は両親の就労が条件になりますが、「放課後子ども教室」は入りたい子は誰でも入ることができ、学校がある日は毎日開かれています!大きな違いは「児童クラブ」は19時まで、「子ども教室」は17時にお迎えということ。

2004年からスタートしたこの事業は、2012年に守谷市が運営を民間に業務委託しています。かといってお任せではなく、週に3回も市と事業者が顔を合わせて「こんなことがあった。こうしていきますよ」という話し合いをしているとのこと。つくば市にも「放課後子ども教室」と同じ名前の取り組みはありますが、年2、3回行われるイベント的なものに留まっています…隣の芝生がまぶしい!

昨今の遊ぶ場所のない子どもの居場所づくりにとても意義のある事業だと思いました。いいところは真似しなきゃ!と思いました。

つくば・市民ネットワーク運営委員  
小森谷さやか



**4** 市民直接請求で住民投票を実現 総合運動公園の住民投票では、署名収集や市民集会などの市民運動と並行し、超党派の議員の連携で住民投票条例を可決させることができました。

結果、反対8割で計画の白紙撤回までこぎつけたのは特筆すべきことです。

この間議会では、土地取得の議案や関連予算の議案が1票差で決まりました。1票差で市政の流れが大きく変わるという経験を、議員1人の重さを痛感しています。

「市民ネットの議員をもう1人」を目指し、活動を拡げていきます。

## 議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

- 8月7日(日) 14時~16時 竹園交流センター 会議室
- 8月8日(月) 10時~12時 荃崎交流センター 研修室
- 8月21日(日) 14時~16時 二の宮交流センター 会議室
- 8月28日(日) 14時~16時 ラ・フェリーチェ保育園(研究学園5-6-3)

## 市内小中学校は『義務教育学校』へ移行？ 名称変更だけじゃなく、制度変更だった



**内容の説明なしで条例可決** 今年4月から春日学園の名称が「春日学園義務教育学校」に変わりました。『義務教育学校』については、昨年12月議会で「つくば市学校設置条例」の一部改正として議会に提案されました。その際に「義務教育学校の内容と目的」について質問すると、教育長からは「制度変更というより、名称変更」との説明しかなく、内容についての説明は一切ありませんでした。

6月議会であらためて『義務教育学校』で、変更になる内容を質問したところ、教育長から「新教科の創設や、指導学年や学校段階間の入れ替えが可能になる」と答弁があり、制度変更を認めた形になりました。なぜ12月の提案時に説明しなかったのでしょうか？



**文科省での議論と国会決議** 『義務教育学校』については、平成17年頃から文科省の専門家会議で賛否両論の議論が続いていましたが、平成27年6月、附帯決議が付けられて国会で可決されました。

附帯決議には、『安易な学校統廃合を行わないよう特に留意すること、また検討段階から保護者や地域住民等に対し丁寧な説明を行い、その意見を適切に反映すること』と記されていますが、つくば市では保護者や地域住民に対して、事前の説明は全くありませんでした。

『義務教育学校』導入で発生するリスクについては、専門家から、授業学習内容の違い、学びの格差などが指摘されています。このような問題こそ教育委員会で議論すべきと考えますが、委員会では議論がなかったとのこと。このまま制度移行を進めてよいのでしょうか。

**市内の現状と課題は** 市内の施設一体型小中一貫校（義務教育学校）では、クラス数も多くなり体育館やプールの運用の困難が予想されます。学校統廃合に伴う小中一貫校（義務教育学校）については長距離通学の問題も起きています。

さまざまな問題や課題があるにもかかわらず、なし崩しで進めるようなやり方は大変不誠実です。このまま見過ごすことはできません。



つくば市議会議員  
環境経済常任委員

**皆川ゆきえ**

一般質問項目

- ・荻崎庁舎跡地活用について
- ・小中学校の名称変更について
- ・義務教育学校制度について



## 障害者差別解消法違反では？ 特別支援教育の支援員不足で、保護者が付き添い



つくば市議会議員  
文教福祉常任委員会副委員長

**宇野 信子**

一般質問項目

- ・子どもたちへの支援の連続性と、幼稚園・保育所等と小学校間の連携について
- ・特別支援教育の推進について
- ・プロポーザル公募について
- ・指定管理者制度の公正性、透明性確保について



今年4月に障がい者差別解消法が施行され、障害のある人もない人も、相互に人格と個性を尊重しあう共生社会へ向けて、大きな一歩が踏み出されました。

しかし学校で支援員の人数が足りず、「保護者が一日中付き添っているケースがある」「支援員を増やせないか」との声が市民ネットに届きました。そこで、支援員配置の状況について、一般質問で確認しました。

現在つくば市の市立小、中学校（義務教育学校含む）において、特別な支援を必要とする児童生徒数は、小学校411人、中学校152人です。一方、児童生徒の生活支援のために配置される支援員は全て臨時職員で、小、中学校合わせて62人。今年度は学校から103人の要望があったが62人配置したとのこと。

なぜ要望より少ない人数になったのか尋ねると、「児童生徒の自立に向けた支援方法について検討し、個々のケースに応じて適切な支援内容を考え、適切な配置をしている」との答弁でした。しかし実際に支援員が足りなくて、保護者が付き添っているならば適切な配置とはいえません。そこで、近隣の市の支援員人数や予算規模を調べてみました。

小中学校の特別支援学級在籍数と支援員配置

	つくば市	水戸市	日立市	土浦市
H27特別支援学級在籍人数	496人	403人	635人	349人
H28支援員人数	62人	101人	73人	64人
H28支援員予算	3736万円	7526万円	7149万円	7750万円

つくば市の支援員予算は明らかに他市より少ない状況です。さらに調べていくと、障害程度による就学判定では「特別支援学校」となったが、保護者の希望で地域の学校の「特別支援学級」を選択した場合に、支援員をつけず、保護者の付き添いを求めるケースもあるようです。就学先の選択には保護者や本人の意思が最大限尊重されると言いながら、支援員が足りないのでは、現場は対応できません。

支援員予算を増やし、年度途中からでも支援員を増員して、付き添いの必要な状態を解消するよう求めました。



## 事業者選定の公正性・透明性を高めるために…

昨年つくたくの運行事業者が公募型プロポーザルで選定されたが、申込期間が4日間と短く、応募が1社のみで、その会社の事業実績が応募条件を満たしているか等、不信な点があった。3月議会で追及した結果、「公募型プロポーザルの選定方法について統一の要領を作る」との答弁だった。

そこで6月議会で進捗を確認したところ、「統一のガイドラインを策定しHPで公表した。申込期間を10日以上、提案書提出締め切りまでさらに20日以上とし、全ての提案者の名称、評価点、順位、その他必要事項についてHP等で公表する。」また、今は各課でばらばらになっている公募型プロポーザルの情報を「一元的に管理するサイトの設置を考えている」との答弁を得た。

設計や調査、計画策定等の委託先を事業者の提案を審査して選定する**公募型プロポーザル**と、公共施設の管理運営を民間に任せる**指定管理者制度**は、どちらも選定会議の審査で選んでいる。しかし、つくば市では、選定過程の公表が不十分で、審査が公正かどうか、提案通りに事業が行われているか等、市民がチェックできない問題があった。

今回、指定管理者選定についても「要綱を見直し、公募型プロポーザルのガイドラインに準じた選定方法にしていきたい」との答弁があり、公正性、透明性確保に向けて一歩前進した。ただ、併せて提案した指定管理者の事業報告や事業評価の公表については、これから検討するとのこと。更なる透明化に向けて引き続き働きかけていきます。





つくば市議会議員  
総務常任委員会副委員長

**北口ひとみ**

**一般質問項目**

- ・竹園ショッピングセンター周辺の再開発について
- ・筑波地区小中学校統合後の学校跡地利用について
- ・総合計画と事業の進め方について
- ・教育委員会について



# 市の計画は何のためにあるのか？ 市長の公約後、計画がなし崩しに!?



ここ数年を振り返ると、駅前ビル建設、筑波地区の小中一貫校新設、総合運動公園の基本計画策定など、計画に全く上がっていない、または「検討」段階までしか記述されていなかった事業が急浮上したり、急激な前倒しが行われてきています。こんなに大規模な事業が次々と突発的に進められていいのか？なぜこのようなことが起きたのか？

H24年市長選の折に配布された市原市長のチラシに「一体型小中一貫校の整備促進（筑波東中学校等）」という記載がありました。筑波地区の統合について当時の学校適正配置計画では、小学校はH31～35年度に検討、中学校はH35年～40年度に検討と示されており、施設一体型校新設は全く計画にはありませんでした。

ところが、選挙直後のH24年11月6日に、筑波東中学校区の5小1中を統合し施設一体型小中一貫校を旧筑波庁舎及び市民病院跡地に新設すると新聞報道されました。報道に驚き、直近の議会で質しましたが、「地域要望があるが、場所も時期もこれから話し合う」との曖昧な答弁でした。

しかしその後、H25年には筑波西中学校区も加わり、7小2中

の統合へと一気に拡大しました。来春の開校を前に、通学路の安全確保やバス通学による保護者負担や廃校に伴う地域の拠点や避難所機能・体育施設利用の継続などの問題が出ています。

一方、TX沿線開発エリアの学校新設は2年後のH30年春開校予定ですが、春日学園は1800人、谷田部小学校は1000人を超え、これ以上の過密は避けられない事態です。どうしてもっと早くTX沿線の学校を作らなかったのか。なぜ筑波地区が異例の前倒しになったのか？公約に掲げたのか？市長に問いました。

市長は、「公約は選挙の時にはみんなすることであり、反対もあると思うが大方の方が計画について支持をされたと理解した」と答弁しました。市民要望とはいえ、現役の首長がすでにある計画を知らぬはずもなく、これでは計画はあつてなきがごとしと言わざるを得ません。ましてや、これらの事業は財政も含め市政運営全般への大きな影響を及ぼす可能性が高く、計画的に進められるべきです。

市民ネットは、誰が市長になろうとも、市政運営の進め方について注視していきます。

## 竹園ショッピングセンター周辺 再構築

平成26年度から始まっている竹園ショッピングセンター含む周辺の再開発の検討。今年11月までに、詳細な調査を行い、再構築に着手するか否かを決めるとのこと、進捗状況を質問した。

現在、今年1・2月に行った市民ワークショップで出た意見も交え、再構築案を検討整理中。今後は、7月下旬に再構築（案）を提示し、地域の区長等とのタウンミーティングを経て、9月に市民ワークショップを再度開催予定。また、ご意見ボックスも設置し、可能な限り意見を反映させたいとの答弁だ。

一方、市民意見のどの部分が反映されようとしているか、複数案の提示かなどの質問に対し、「提示をお待ちいただきたい」として明確な回答はなかった。

このエリアは、公共施設が集積し、周辺住民だけでなく利用市民は多い。十分な検討時間確保のために、地権者へ結論を出す時期の延期を交渉してほしいと、市長へ要望した。しかし、「着手するかどうか分からない段階、地域の合意形成ができれば動きます」旨の答弁。市長、基本的な構想案が出来上がってからじゃ、遅いんですけど…。

市民ネットは、総合運動公園の二の舞にならぬよう、今後も粘り強く働きかけていきます。



## 体育施設への指定管理者導入に反対!



つくば市では平成17年のふれあいプラザに始まり、現在、公園28か所のほか9か所の施設を、株式会社、財団、NPOなどの指定管理者が管理している。市は、新たに総合体育館など15の体育施設を指定管理者制度の対象とする条例改正を提案した。指定管理者制度には問題が多いため、市民ネットは反対したが可決してしまった。

現在、体育施設の管理運営は委託で行われており、事業者や価格が公表されているが、指定管理者制度になると指定管理者が業務の一部をさらに委託する場合、どの事業者にいくらで委託するか市民にはわからない。指定管理料は税金なので、指定管理者と下請けとの契約についても公開するよう、制度の見直しが必要だ。

また、指定管理者による施設運営が、各施設の設置目的を十分果たしているかという根本的な問題がある。公共施設の役割は、単なる貸館業務やサービス提供だけではなく、市民の福祉向上の役割を果たさなければならない。指定管理者が常に市の方針を意識し、時には関係機関の連携を進める役割をも果たせるのか。これについては、すでに指定管理者を導入した施設の事業実績を検証する必要がある。

指定管理者の選定過程については、市民ネットの改善提案を受け、公正性、透明性の確保にむけて前進があった。しかし、まだまだ課題が多い。これらの課題にどう対処するか、引き続き問題提起していきます。

## 2016年6月議会議決結果

議決の結果 (○：賛成、×：反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党・維新の会	統一会派つくば政清会・民主党の会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	山中八策の会
市内スポーツ施設15か所を指定管理に移行する条例改正	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	
小規模保育の資格要件を緩和するなどの条例改正	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	
TX沿線開発に伴う下水道工事契約の議案(中根・金田台)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	
TPPを批准しないよう国と政府へ意見書提出を求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数27 議長：塩田)		*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢 高野、松岡	*五頭 久保谷、神谷 小久保、黒田	*塚本 大久保、木村修 飯岡、木村清	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*金子	*鈴木	*塩田 (議長)



2016年7月25日 Vol.47

### 市民ネットワーク3つのルール

1. 議員は原則2期8年で交代
2. 議員報酬は市民の活動費
3. 選挙はカンパとボランティアで

## 新しい市長、どう選ぶ? 市民懇談会を開催しました!

市原市長の不出馬宣言を受け、6月16日、つくばイノベーションプラザで、市長選への意見交換をする「明日のつくば市政を考える市民懇談会」をつくば市議会議員有志14名で開催しました。市民約70名が一堂に会し、市長のあるべき姿や市政に対する意見が次々と出されました。

参加者からは、公共交通、医療福祉、教育、経済、防犯、総合運動公園用地、市政運営など様々な現市政の問題が指摘されました。特に、昨年の住民投票の経験から、市民が参加で仕組みや手続きの確立が必要、など意見が出されました。

また、「市長は独断専行ではなく市民の声を十分に聞く」「利権・金権の政治腐敗をなくす」「市長選も市民の募金で!」など、新市長を選ぶ際の意見が多数出されました。

11月の市長・市議選まであと3か月あまり。どんなまちにしたいのか、そのために誰を選ぶのか、大いに市民間で意見交換・議論をし、投票へ行きましょう!



### 主な活動報告

- 4/11 憲法ワークショップ開催
- 4/18 議会報編集委員会
- 4/28 環境経済常任委員会
- 4/30 憲法と選挙の学習会参加
- 5/10 議会活性化推進特別委員会
- 5/13 ダンボールコンポスト講習会開催
- 5/13,14,18,19,20 議員と話そう会開催
- 5/15,7/2 つくば市の財政を学ぶ会勉強会参加
- 5/21,22 全国市民政治ネットワーク交流集会参加
- 5/29 もうすぐ選挙!フェス  
「この夏、選挙で未来を決めよう」開催
- 5/29 市議会主催議会報告会
- 6/12 上映会「不思議なクニの憲法」参加
- 6/13~6/29 6月定例市議会
- 6/16 明日のつくば市政を考える市民懇談会
- 6/29 ダンボールコンポスト講習会講師  
(石岡市城南地区公民館)
- 7/12~14 環境経済委員会視察  
(成田、余市、苫小牧)(皆川)
- 7/16 街頭議会報告

※放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城へも参加しています。  
※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています(詳細はHPをご覧ください)。

## つくば市長・市議会議員選挙

日程が決まりました  
告示日:2016年11月6日(日)

投票日:2016年11月13日(日)

市民ネットは「暮らしやすいまち」の実現へ向け活動しています。現在、3人の議員が活動していますが、今秋の市議会議員選挙では4人がチャレンジし、より多くの市民が参加するまちづくりを目指していきます。

### 2016年市民ネット政策

- ・市民自治ができるまちづくり
- ・安心・安全な食と農業の推進
- ・子どもの健やかな成長を支える環境づくり(教育・子育て)
- ・高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる地域づくり(高齢、障がい・人権)
- ・住みやすいまちづくり
- ・環境を守り、循環型社会をつくる
- ・脱原発を実現し、自然エネルギー中心のまちづくりと放射能汚染対策
- ・立憲主義を堅持し、憲法の三原則(基本的人権の尊重、国民主権、平和主義)を守る

### 参議院選挙報告

つくば・市民ネットワークは、参議院選挙で全国比例区の大河原雅子を推薦して活動してきました。結果は71398票。たくさんの皆さんに応援していただきましたが、残念ながら当選には至りませんでした。今回の経験を生かし、より一層地域から声を発し続けていきます。

あれから1年…  
住民投票の会 住民投票運動記録集  
市民参加 おおきな一歩  
寒い冬の最中から猛暑の夏に向け、総合運動公園基本計画の白紙撤回を求め、多くの市民が関わり活動した全記録です。1冊500円で販売します。ぜひ手に取ってご覧になって頂きたいと思います。ご希望の方は、市民ネット事務局までご連絡ください。



## こんなふうに使っています

### 政務活動費

市議の政務活動費は1人当たり3万円/月が交付されています。報告書・領収書を市に提出し、残金がある場合は市に返却します。2015年4月~2016年3月の3人分、108万円について報告します。

科目	金額(円)	主な支出の内訳
研究研修費	76,664	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福島原発震災情報連絡センター第5回総会&amp;被災地スタディツアー 参加</li> <li>●自治体議員立憲ネットワーク総会&amp;勉強会 参加</li> <li>●原発事故子ども・被災者支援法政府交渉 参加</li> <li>●財政学習会 参加</li> </ul>
資料作成費	111,919	情報公開コピー代、登記簿複写料、議会図書室コピー機使用料
資料購入費	114,806	新聞代、書籍代、著作権料
広報費	776,640	会派合同議会報告・速報 つくば・市民ネットワーク議会通信印刷料・新聞折込料
合計	1,080,029	

### 議員報酬

#### つくば・市民ネットワークの活動費 (2015年1月~12月)

【収入】  
前年度繰越 1693万円  
会費・寄附など1134万円

【支出】  
人件費 382万円  
光熱水費 30万円  
備品・消耗品費 97万円  
事務所費 504万円  
総会・行事費 61万円  
通信等作成費 197万円  
調査・研修費等 63万円  
寄附 10万円  
その他 2万円

【次年度へ繰越】  
1481万円

2015年1月~12月

つくば市議会

1081万円

寄附

※法律に則り  
資金管理団体を通じて寄附しています



3人で  
代理人活動費 570万円  
経費(※2) 473万円

3人で  
議員報酬 2099万円  
費用弁償(※1)等 25万円

※1 費用弁償:議員報酬とは別に議員が議会や委員会に出席するときに、定額支給される旅費・交通費。(つくば市の場合、日額2,000円)  
※2 経費:代理人(議員)の国民年金、国民健康保険、所得税、住民税など。